令和3年度　施策・基本事業マネジメントシート（令和2年度実績に基づく評価）

作成日　令和　3　年　8　月　6　日

政策体系	基本目標名	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	施策主管課長	いきいき高齢課
	政　策　名	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり		広瀬　厳
	施　策　名	1	豊かで健やかな長寿社会の実現		
施策関係課	介護保険課、健康増進課、スポーツ立市推進課、生涯学習課				

1. 施策の目的と成果把握

	この施策は、誰、何を対象としているか		対象指標	単位	H30	R1	R2
施策の目的「対　象」	①高齢者（65歳以上） ②高齢者を支える人（市民）	①	65歳以上の高齢者数	人	34,935	35,399	35,821
		②	佐野市の人口	人	119,348	118,450	117,706
		③					
		④					

	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか		成果指標（意図の達成度を表す指標）	区分	単位	H30	R1	R2	R3
施策の目的「意　図」	①住み慣れた地域で、生きがいをもち、健やかに暮らし続けることができるようにする。 ②地域で高齢者を支える人が増え、見守りなどの高齢者を支援する活動を推進する。	①	生きがいをもって生活している高齢者の割合	目標	%	84.6	84.7	84.8	84.9
				実績		73.4	77.0	68.4	
		②	社会参加をしている高齢者の割合	目標	%	60.0	60.5	61.0	61.5
				実績		55.7	49.8	46.3	
		③	地域での生活支援サービスの体制づくりに取り組む町会等	目標	箇所	10	15	20	25
				実績		9	16	17	
		④		目標					
				実績					
		⑤		目標					
				実績					

成果指標設定の考え方	①この施策の意図がどれくらい達成されているのかを把握するためには、高齢者の意識や実態を市民意識調査等により測定する必要があり、成果指標として採用した。 ②地域で高齢者を支える活動の状況が把握できることから、成果指標として採用した。

成果指標の取得方法	①	市政に関するアンケート調査
	②	市政に関するアンケート調査
	③	いきいき高齢課地域支援事業係資料
	④	
	⑤	

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図		成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
生きがいづくりと社会参加の促進	・65歳以上の高齢者	・生きがいをもって生活してもらうとともに、多様な社会活動に参加してもらう。	①	ふれあいサロンに参加した高齢者の延人数	目標	人	61,000	61,500	62,000	62,500
					実績		68,228	48,622	32,824	
			②	老人福祉センター利用延人数	目標	人	143,000	144,000	145,000	146,000
					実績		150,494	135,951	47,742	
			③	シルバー人材センター会員就業延人数	目標	人	24,000	24,200	24,400	24,600
					実績		33,408	32,961	29,097	
自立支援サービスの推進	・65歳以上の1人暮らしの高齢者 ・65歳以上の高齢者のみの世帯	・自立した在宅生活を送れるようにする。	①	在宅福祉サービス利用延人数	目標	人	6,400	6,500	6,600	6,700
					実績		5,819	5,891	5,358	
			②	養護老人ホーム措置入所者数	目標	人	50	50	50	50
					実績		45	41	43	
			③		目標					
					実績					
介護保険サービスの充実と介護予防の推進	・65歳以上の高齢者	・必要な時に適切な介護保険サービスが受けられるようにする。 ・要介護状態にならないようにする。	①	要支援・要介護認定率	目標	%	18.2	18.2	18.3	18.3
					実績		18.0	17.6	18.1	
			②	ハツラツ元気体操等に取り組んでいる団体数	目標	箇所	20	30	40	50
					実績		19	23	23	
			③		目標					
					実績					

基本事業名	対象	意図		成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
後期高齢者医療制度の円滑な運営	・75歳以上の高齢者	・安心して医療を受けられるようにする。 ・健康づくりと疾病予防のため、健診率の向上を図る。	①	後期高齢者医療保険料収納率	目標	%	99.6	99.6	99.6	99.6
					実績		99.3	99.4	99.7	
			②	後期高齢者医療健康診査受診率	目標	%	17.0	17.3	17.7	18.0
					実績		17.8	17.9	16.9	
			③		目標					
					実績					
地域ネットワークづくりの推進	・高齢者を支える人（地域住民等）	・地域で高齢者を支える人が増え、活動が推進される。	①	見守りネットワークを通して、安否を確認した高齢者数	目標	人	1,400	1,450	1,500	1,550
					実績		1,100	1,071	1,025	
			②	地域での生活支援サービスの体制づくりに取り組む町会等	目標	箇所	10	15	20	25
					実績		9	16	17	
			③		目標					
					実績					
			①		目標					
					実績					
			②		目標					
					実績					
			③		目標					
					実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

	令和2年度施策の取組方針	施策の取組方針・成果指標達成状況		
施策	・高齢者の総合相談等から、適切な支援につなげていけるように、地域包括支援センター職員の資質の向上を図り、連携を強化することで、地域での住民主体の介護予防事業の取組を進める。 ・地域の生活支援サービスの体制整備を推進するため、介護サービス事業者、ふれあいサロン等の通いの場、地域での住民主体による介護予防の取組に対して支援を行う。 ・自立支援、重度化防止に資する観点及び介護サービスの適正給付を目的に、ケアプラン点検を行い、介護給付費の適正化を図る。 ・後期高齢者医療健康診査の受診勧奨を実施し、生活習慣病の重症化予防のための保健事業につなげる。	取組方針	☐ 全て達成 ☑ 一部未達成 ☐ 全て未達成	【施策の取組方針達成状況】 ・地域包括支援センター職員の資質の向上のため、新型コロナウィルス感染症対応に関する研修を実施した。地域での住民主体の介護予防事業の取組を進めるための地域包括支援センターとの連携については、コロナ禍のため十分に実施できなかった。 ・新型コロナウィルスの影響により、ふれあいサロンや住民主体の通いの場に対しての支援は十分行えなかった。 ・新型コロナウィルス感染症の影響により、ケアプラン点検講習会は実施せず、実地指導時での点検に変更して実施した。 ・広報やちらし、医療機関に働きかけるなど後期高齢者医療健康診査の受診勧奨を実施し、必要な対象者に保健事業を実施した。
		成果指標	☐ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☑ 全て未達成	【成果指標達成状況】 ・生きがいを持って生活している高齢者の割合は、前年度より下がり、目標には達していない。社会参加をしている高齢者の割合は目標には届かなかった.。地域での生活支援サービスの体制づくりに取り組む町会等についても、目標を達成できなかった。

	基本事業名	令和2年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況
基本事業	生きがいづくりと社会参加の促進	・高齢者の社会参加や閉じこもり防止のため、ふれあいサロン等の通いの場に対し、内容の充実及び自主的な取組みを推進するための運営支援を行う。 ・高齢者の就業を支援するため、シルバー人材センターを支援する。	取組方針　☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成 成果指標　☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 新型コロナウィルス感染症の影響により、ふれあいサロン等の通いの場に対しての運営支援を十分できなかった.。シルバー人材センターの運営に対して補助金の財政支援を行い高齢者の就業を支援した。 【成果指標達成状況 新型コロナウィルス感染症の影響により、休止の期間があったことにより、ふれあいサロンに参加した高齢者の延べ人数は目標を達成する見込みはない。 シルバー人材センターの就業延人員は2月末現在で、目標を超えており目標達成することができた。
	自立支援サービスの推進	・一人暮らし高齢者等に各種の在宅福祉サービスを提供し、自立した在宅生活が送れるように支援するとともに、各事業を効果的に進めるための検討を行う。	取組方針　☑ 全て達成　☐ 一部未達成　☐ 全て未達成 成果指標　☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☑ 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 高齢者福祉タクシー券給付事業及び高齢者生活路線バス運賃助成事業の見直しをし、内容の拡充をすることができた。一人暮らし高齢者等が自立した生活が送れるよう様々な在宅福祉サービスを実施した。 【成果指標達成状況】 在宅福祉サービスの利用述べ人員については、現在のところ、見込みの数字は出ていないが、新型コロナウィルスの感染症の影響により高齢者福祉タクシー券の利用率が低下していることから、目標には達しないと思われる。 養護老人ホームに入所者は目標値より少ない。
	介護保険サービスの充実と介護予防の推進	・地域における介護予防を目的としたハツラツ元気体操等の住民主体の取組に対し支援し、介護予防事業の充実を図る。 ・自立支援、重度化防止等に資する観点及び介護サービスの適正給付を目的に、ケアプラン点検を実施する。	取組方針　☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成 成果指標　☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 新型コロナウィルス感染症の影響により、ハツラツ元気体操等の住民主体の取組に対しての支援についてほ十分実施することができなかった。 新型コロナウィルスの影響により、ケアプラン点検講習会は実施せず、実地指導時の点検に変更した。 【成果指標達成状況】 新型コロナウィルス感染症の影響のためか、住民主体の介護予防事業が1カ所しか立ち上がらず、結果的には23団体となり、目標には届かなかった。ケアプラン点検については、実地指導時での点検を3件実施した。要支援・要介護認定率は、目標値18，3%に対して、実績18.1%で目標は達成することができた。

基本事業名	令和2年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況
後期高齢者医療制度の円滑な運営	・後期高齢者医療制度の円滑な運営を図るとともに、後期高齢者の健康づくりと疾病予防のため、健康診査の受診勧奨に努め、保健事業につなげていく。	取組方針　☑ 全て達成　☐ 一部未達成　☐ 全て未達成 成果指標　☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☑ 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 保険料の徴収業務により、後期高齢者医療制度において、必要な財源を確保することができた。広報やチラシ、医療機関に働きかけるなど健診の受診勧奨に努めた。 【成果指標達成状況】 後期高齢者医療保険料の収納率は、目標99.6%に対し、実績98.3%で目標は未達成だった。大口滞納者が増加していることが要因として考えられる。新型コロナウィルス感染症の影響もあり、健診受診率は目標に達しない見込みである。
地域ネットワークづくりの推進	・地域で高齢者を支えるためのネットワークづくりを推進するとともに、老人クラブや町会等の高齢者を支える活動を行う団体を支援し、生活支援サービス等の体制づくりを進める。	取組方針　☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成 成果指標　☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☑ 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 ちらしや広報、ホームページ等で見守りネットワークの周知を図った。新型コロナウィルス感染症の影響もあり、老人クラブや町会等に働きかけることができなかった。 【成果指標達成状況】 見守りネットワークを通して、安否を確認した高齢者数は目標値には届かない見込みである。地域で生活支援サービス等に取り組む団体は1カ所増えたが、目標には達しなかった。
		取組方針　☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☐ 全て未達成 成果指標　☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☐ 全て未達成

	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担 市民	 事業所	 行政
施策の基本情報	・国では、在宅福祉に重点を置き、住まい、医療、介護、介護予防、生活支援が一体に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指している。 ・議会一般質問等で、高齢者福祉事業や認知症対策事業、介護予防・日常生活支援総合事業について、地域包括支援ケアシステム構築にむけての取組状況等についての質問があった。また、議会でも要望のあった、地域包括支援センターを1か所増設し、5か所とし、1か所の地域包括支援センターに認知症初期集中支援チームを設置し、機能型地域包括支援センターとした。 ・新型コロナウィルス感染症が令和3年４月１６日には全国を対象に緊急事態宣言が発令さた。宣言解除後も様々なことが影響を受けており、未だ感染症は収束していない。	・「自分の健康は自分で守る」という意識をもち、健康・生きがいづくりに取り組む。 ・介護予防に積極的に取り組む。	高齢者の社会参加（地域活動）を支援する。 ・地域福祉の担い手として活動する。 ・地域との連携、行政との協働により、高齢者の見守り活動を支援する。	・高齢者の社会参加を支援する。 ・高齢者の生きがい活動を支援する。 ・介護保険事業計画に基づき、介護サービスを提供する。 ・介護予防事業を始めとする地域支援事業の充実に努める。 ・後期高齢者医療制度を適切に運営する。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
・新型コロナウィルス感染症の影響により、ふれあいサロン等の通いの場に対しての運営支援を十分にできなかった。また、緊急事態宣言中の運営休止の期間があったこともあり、参加者の延べ人数も減少する見込みである。 ・一人暮らし高齢者が自立した生活を送れるための在宅福祉サービスを効果的に進めるための検討を行い、高齢者福祉クシー券給付事業と高齢者生活路線バス運賃助成事業を拡充することができた。 ・新型コロナウィルス感染症の影響により、ハツラツ元気体操等の取組について町会等に働きかけることができなかった。結果として取組団体は新たに立ち上がらず目標値に達しなかった。 ・後期高齢者の医療制度の円滑な運営のための保険料収納率は、上昇せず、目標には届かなかった。健康診査受診率については、前年度より低下し、目標にも届かない見込みである。新型コロナウィルス感染症の影響が考えられる。 ・地域のネットワークづくりの推進として、見守りネットワークを通して安否を確認した高齢者数は、1,148人と昨年度より増加したが、目標値には達しなかった。 ・地域で生活支援サービス等に取り組む団体は、一カ所増えたが、目標値には届かなかった。新型コロナウィルス感染症の影響により、立ち上げができなかったことが理由として考えられる。 ・要介護認定率は、目標の18.3%に対して、実績18.1%で目標は達成することができた.介護予防教室やサロンの利用、通所型サービス等の利用等により介護認定者の減少が見られた	【令和3年度で解決する課題】 特になし 【令和4年度以降にも引き継がれる課題】 ①高齢者の閉じこもり防止と社会参加を促進するため、通いの場の充実と高齢者の就業支援 ②一人暮らし高齢者等の自立した生活の実現 ③後期高齢者医療制度の円滑な運営と健康づくりと疾病予防の実施 ④今後増加する介護費用の適正化 ⑤高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取組 【令和4年度重点課題】 ⑥介護予防事業の充実 ⑦地域で高齢者を支えるネットワークと生活支援サービスの体制づくり ⑧高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の開始	①ふれあいサロン及び通いの場の周知と活動に対する支援に努め、シルバー人材センターの運営を支援する。 ②高齢者福祉サービスを効果的に実施するための事業の見直しを行うと共に、一人暮らし高齢者等が自立した生活を送れるための様々な在宅福祉サービスを実施する。 ③財源確保のための効率的･効果的な滞納整理を実施すると共に、健康審査の受審勧奨と生活習慣病重症化予防事業を実施する。 ④介護支援専門員等の資質の向上を図るため、ケアプラン点検や講習会を実施するなど介護給付適正化の取組を実施する。 ⑤保険者機能強化交付金などを活用し、保険者機能の強化を図る。 ⑥住民主体の介護予防の取組を支援する。 ⑦地域包括ケアシステムの推進。 ⑧高齢者医療確保法に基づく指針の改正により、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を進めるための専門職の配置を調整する。